

新刊案内

『ポーラの載冠式』 茅田 砂胡/著 中央公論新社 T/カス
『白の王』 廣嶋 玲子/著 東京創元社 T/ヒレ
『福祉の仕事・資格ガイドブック』 山口県社会福祉協議会山口県福祉人材センター T366/フク
『医学部』 浅野 恵子/著 ぺりかん社 T376/アケ
『想定外の人物解剖学』 坂井 建雄/著 榎出出版 T491/サタ
『透明なゆりかご』【7】 沖田 ×華/著 講談社 T495/オハ
『香りと歴史7つの物語』 渡辺 昌宏/著 岩波書店 T576/ワマ
『小論文これだけ!』【模範解答医学・看護・医療編】 樋口 裕一/著 東洋経済新報社 T816/シヨ
『異世界千ト魔術師 (マジシャン)』【7】 内田 健/著 主婦の友社 TB/ウタ
『司波達也暗殺計画』 佐島 勤/著 KADOKAWA TB/サツ
『三千世界の鴉を殺し SEQUEL』 津守 時生/著 新書館 TB/ツト
『後宮瑞華伝』 はるおか りの/著 集英社 TB/ハリ



ティーンズのココロ通信 山口市立中央図書館 180号

平成30年 12月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



日本の【クリスマス】は山口市から始まったことを知っていますか??? 1552年カトリック教会の宣教師らが山口の地で降誕祭を行ったことが、日本で初めてクリスマスが祝われた日とされています。これにより「12月、山口市はクリスマス市になる。」という合言葉で様々なイベントが開催されます。なので今月のテーマはやっぱり【クリスマス】! 平成最後のクリスマス! ステキな本を揃えています。



●『クリスマスの奇跡』

キャスリーン メドゥズ／著 宇佐 和通／著 学研 T936／メキ
欧米のクリスマスに起きた奇跡的な実話を10編紹介しています。やわらかな口調の翻訳に、繊細なタッチの絵が散りばめられ、童話のような本です。クリスマスという特別な日は人々を高揚させ、優しくしてくれます。ポーランドには『クリスマスイブには、たとえ相手が野良猫でも、最高のもてなしをしなければならない』ということわざもあるそうです。そうして結ばれた他者との縁が奇跡を起こします。家族や恋人、大切な人々に会いたくなる心温まる逸話集です。(S. K)

●『サンタクロースの11かげつ』

マイク リース／文 マイケル Gモントゴメリー／絵
三辺 律子／訳 岩崎書店 E／モマ
12月25日はクリスマス！クリスマスに向けて12月はとっても忙しいサンタ！でも、クリスマスが終わったら次のクリスマスまで11ヶ月まるまるお休みです。クリスマスが終わったらサンタは何をしているのでしょうか？なんと、月ごとに世界中を飛び回り、休暇に修行に…。優しいタッチで描かれた少し笑えるサンタクロースの11ヶ月。サンタクロースの秘密をのぞいた気分になりますよ？(W. U)

●『星が導く旅のはてに』

スーザン フレチャー／作 富永 星／訳 徳間書店 TF／フス
キリスト生誕の伝説『ベツレヘムの星』をご存知ですか？星によって王の誕生を知った三博士が、東から旅をしてキリストに贈り物をしたお話です。本作ではその旅に古代ペルシアの王族の血を引く少女・ミトラと、夢見の才を持つ弟・ババクが同行します。過酷な旅の果てにミトラは王族という身分以上に大切なものに気づき……。日本ではあまり馴染みのない砂漠の文化も面白く読める歴史ファンタジーです。(S. K)

●『賢者のおくりもの』

オー＝ヘンリー／著 飯島 淳秀／訳 TF／ヘオ
貧しいけれど仲良く暮らしているデラとジム。明日はクリスマスなのにプレゼントを買うお金がありません。デラは長く美しい髪の毛を売り、夫の懐中時計に似合う鎖を贈ることに。しかし、ジムは大切な懐中時計を売り、デラの髪に似合う櫛を贈ることに。お互いの一番大切にしているものを手放して贈り物をする、クリスマスにぴったりのお話です。
他にも、心がじんわりと温まる短編が収録されているのでぜひ読んでみてください。(S. M)

●『あっ！妄想グルメだ！なにコレ!?と見て食べて驚くレシピ』

いとう りえこ／著 KADOKAWA T596／イリ
もうすぐクリスマス！ケーキやスイーツを作ってクリスマスをお祝いしませんか？この本は、こんな料理があったら面白いな、楽しいなと思うアイデアから作られた少し風変わりなレシピ本です。季節ごとのイベントおやつページには「サンタ帽子のパウンドケーキ」が紹介されていて、本当になにコレ!?と見て食べて驚くようなレシピばかりです。作ったお菓子を家族や友達、大切な人にプレゼントできるよう、ラッピングのページもありますよ。(W. U)

●『ゆきの日 on Christmas day』

菊田 まりこ／絵 文 白泉社 T726／キマ
たくさん雪が降った朝、大人は最悪だと嘆き、子どもは最高だとはしゃぐ。子どものは何もかもが新鮮で、満たされていたのに、大人になった今はいつも何か足りない。
大人になるってどういうことだろう？小さい頃に感じていたわくわくやどきどきを思い出させてくれる、クリスマスに贈る絵本です。(S. M)